



申  
6  
月  
31  
日  
号

# 繰り返し発生する重大事故に向き合い、 原因究明と再発防止に向け、 「いのち」と「安全」を第一とした 輸送の確立を求める 緊急申し入れ提出!

事故・事象の背後には、様々な要因が折り重なっており、それらを見過ごすことなく抽出し、すべてに対策を打ち立てていくべきです。また、三大労災へ直結する重大事象が後を経たず、同種事故・事象が繰り返され続けていることに強い危機感を抱かざるを得ません。安全文化・風土が正しく醸成されず、事故・事象が発生するたびにルールの上塗りがなされ、尊い命が奪われてしまった過去の痛ましい事故等の教訓をもとに定めてきたルールの成り立ちや経過が歪められています。そして、現場現実を顧みず、報告のための対策に終始し、本来の原因を究明することなく、個人への責任追及と、責任を現場へ転嫁する上意下達の経営姿勢が顕著となっています。「変革 2027」における社員の成長としての「チャレンジ」や「主体性」を求めすぎるあまり、現場に人が定着せず、安全綱領を頂点とした安全文化の醸成と専門知識を有する人材育成が希薄になっています。また、これまで打ち出されてきた各種施策が未達のままとなっていることも、職場の士気の低下を招いている要因です。

鉄道特有の「安全性」「専門性」が重要視され、「人間性」を尊重し、組合員が働きがいと生きがいを実感する職場風土の確立と、今回の相次ぐ事故からの教訓を引き出すとともに、これまでの施策や対策について、大胆に見直していくべきです。

したがって、中央本部は下記のとおり申し入れ、団体交渉へ臨みます。

1. 相次いで発生した事故・事象に対する直接的な原因と背後要因を明らかにするとともに、暫定対策と恒久対策を確立すること。なお、以下に記す事故・事象に対して、それぞれ具体的に明らかにすること。

- (1) 2021年6月16日、米坂線 手ノ子・羽前沼沢間での営業列車とレールスター衝撃
- (2) 2021年6月18日、田端操北部 SRH での電磁接触器焼損に伴う軌道回路故障
- (3) 2021年6月18日、中央線特急 E353 系の空気ばねの破損
- (4) 2021年6月20日、渋谷変電所内でのき線ケーブル損傷に伴う停電

2. 「鉄道運転事故」に至らずとも「注意を要する事象」が繰り返し発生していることに対する受け止めを明らかにすること。特に、線路閉鎖誤りが多発している背後要因と原因ならびに対策を明らかにすること。
3. 安全意識の再徹底と技術継承への取り組み強化について、具体的な内容と方法を明かにすること。

申し入れ項目

安全を第一とした鉄道事業者としての責任を果たす

JR東日本の「安全・安定輸送」は重大な危機に瀕している!

◆変電所のバックアップ体制に問題は?

◆乗客の誘導は適切だったか?

国土交通省からも検証・再発防止策の提出指示!

「いのち」を預かる事業者としての社会的責務を果たす  
JR東日本を全ての仲間と共につくり出そう!